



全国公立学校教頭会通信 第6号

# きずな

近畿公立学校教頭会研究大会和歌山大会

発行 令和5年12月25日

全国公立学校教頭会広報部

電話： 03-3436-4868

Mail： [zenkokyo@kyotokai.jp](mailto:zenkokyo@kyotokai.jp)

HP： <https://kyotokai.jp>

令和5年度近畿公立学校教頭会研究大会和歌山大会の概要をお伝えします。全公教近畿ブロック長 和歌山県海南市立亀川小学校 教頭 清水奈穂実先生に研究大会の様子をまとめていただきました。

1. 大会名 第61回近畿公立学校教頭会研究大会 和歌山大会
2. 開催日 令和5年11月17日（金） 10:00～16:00
3. 会場 和歌山県民文化会館・アバローム紀の国・和歌山県自治会館
4. 日程  
受付 9:15～10:00  
開会行事 10:00～10:30  
記念講演 10:30～12:00  
分科会 13:20～16:00



## 5. 研究大会の概要

- (1) 大会主題 『未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり』
- (2) 開会行事 ①開会宣言 ②国歌斉唱 ③挨拶（会長・来賓挨拶） ④次年度開催京都府挨拶
- (3) 記念講演
  - ・演題「脊柱管狭窄症の先端治療と医療機器開発を成功に導くSynchronicity」
  - ・講師：和歌山県立医科大学名誉教授 吉田 宗人 氏
  - ・概要：脊椎手術内視鏡手術の第一人者でスーパードクターである吉田氏は、常に自分がどうありたいか、どう医療を改革していくかを願うことでSynchronicityが起り、世界初の医療機器開発を地域企業とともに実現するなど、自分の夢に賛同してくれる方と会うことができた。予測困難な時代でもこうありたいと強く願うことで、チャンスを掴み、未来を切り拓くことができるという希望を与えてくださる講演内容でした。
- (4) 研究協議会（分科会） 5分科会で7提言を行いました。
  - 第1「教育課程」・小中一貫教育に向けた教育課程づくり（兵庫県）
    - ・教育課程編成上の課題についての考察（和歌山県）
  - 第2「生徒指導」・「読書バリアフリーに向けた図書館サービス研修」事業をきっかけに～2021・2022年度の富田林市立第二中学校の取り組み～（大阪府）
    - ・「生き活きと学びあう学校」づくりがもたらしたもの（和歌山県）
  - 第3「組織運営」・学校と地域の強みを活かす学校経営の在り方  
～伝統と革新を織り交ぜたカリキュラムマネジメント～（京都府）
  - 第4「人間尊重」・校内研究「ことば科」の取組とステージ制を生かした人権教育の推進（滋賀県）
  - 第5「教頭の職務」・持続可能な教頭の仕事を旨として（奈良県）

## 6. 研究大会の振り返り

参集型の研究会当日は、約1,350人の副校長・教頭の参加となりました。とりわけグループ協議では休憩時間も意見交流が継続されるほどの熱気が感じられる大会となりました。記念講演会では、未来を切り拓く実践とその信念についてお話していただきました。午後の分科会では、3会場5分科会に分かれ実践発表がなされ、各提言者から内容の濃い発表をしていただきました。自治体や学校によって様々な制度や取組の違いがクローズアップされ、活発な意見交換ができていました。今の自分の当たり前が当たり前ではないということに気づくことができ新たな視点を獲得したという声もありました。日頃の実践交流や課題をストレートに出し合うことで、これからの魅力ある学校づくりに生かすことができる活力を得られた大会となりました。



自治体や学校によって様々な制度や取組の違いがクローズアップされ、活発な意見交換ができていました。今の自分の当たり前が当たり前ではないということに気づくことができ新たな視点を獲得したという声もありました。日頃の実践交流や課題をストレートに出し合うことで、これからの魅力ある学校づくりに生かすことができる活力を得られた大会となりました。